

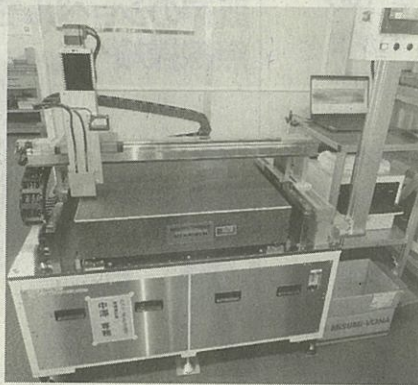
金型平坦度自動測定

岡谷熱処理工業

非接触計測装置を開発

センサー部 最新レーザー搭載

【諏訪】岡谷熱処理工業（長野県岡谷市、滝沢秀一社長、0266・23・4610）は、非接触で金型表面の平坦度を自動計測できる装置「平面度測定機（通称「アルフレッドメジャーメント」）を開発した。従来、ダイヤルゲージや3次元測定機など人手に頼っていた金型の検査作業を大幅に省力化できる。



非接触で自動計測できる装置「アルフレッドメジャーメント」を開発した。ノは10億分の1の高精度センサーおよび同3μm級の超高精度センサーで、どちらかを選択して使うことができる。

新装置は約2000万円を投じ開発した。約800μm四方の定盤上に熱処理後の金型を置き、操作モニターで金型の高さと、縦横サイズを入力するだけで使用できる。その後

は可動式ヘッドに備えた半導体レーザーが上部から基本的な1μm刻みで高さ（距離）を移動測定しつつ、自動で計測する仕組みだ。センサー部には作業者の入力ミスなどを防ぐための衝突防止用センサーのほか、測定時に切削痕（ツールマーク）などの影響を無効化するために最新の4波長半導体レーザーを2機搭載した。それぞれ分解能が15μm（ナ

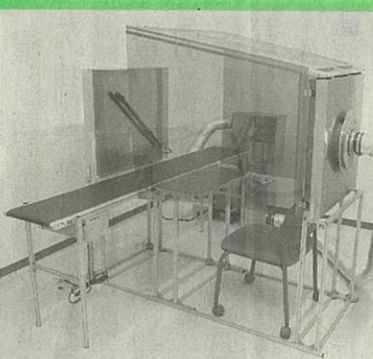
状態を表示する。結果はプリンターで品質保証に出力できる。

滝沢社長は「金型上マーカなどの影響をの穴や溝に加え、表面自動で省ける」として「残る切削痕（ツール）にしている。」

コンベヤーの改造不要

TRINC クリーンベンチ発売

【浜松】TRINC（浜松市西区、高柳真社長、053・482・3411）は、コンベヤー用クリーンベンチ「機械工程用・小型」を3月2日と「同・中型」、コンベヤー横で作業者がロボットが作業する工程向けの「作業工程用」を用意。価格は93万9000円（消費税抜き）から76・771は、電



【東大阪】ベッセル（大阪市東成区、田口順一社長、06・6976・7771）は、電

高精度に深穴加工

防振工具 重金属製部品採用

ワルター ジャパン

【名古屋】ワルター（35）は、高精度な深防振部品を採用した。術「Accure・t」を「Accure・t」に搭載し、穴加工が可能で防振工自動車やエネルギー産品（アキユアテツ

1は金型や航空宇宙部品の深いポケットや複雑形状の加工が可能。

両製品とも内部クーラーで切削屑を排出する。ワルターの日本法人。

作業員を検知 警報通知

油圧シヨベル用 安全対策システム

ティオ



る。食卓のほかサイドテーブル付きのソファなどをしつらえ、明るく開放

秋山 隆 社長